

報告

Astro-HS 全国フォーラム 2018 開催報告

谷川智康（兵庫県立三田祥雲館高校）、相澤里佳（名古屋大学）

1. はじめに

2018年3月18日（日）、東京工業大学附属科学技術高校で高校生天体観測ネットワーク2018（以下Astro-HS）の全国フォーラムを開催した。前日、3月17日（土）に千葉大学西千葉キャンパスで日本天文学会ジュニアセッションが開催されたことを受け、関東地区での開催であった。やや準備の出だしが遅れたこともあって、千葉・東京近辺で適当な会場を探したが見つからず、東京工業大学附属科学技術高校 小菅京さんのご厚意で会場を提供していただけることになった。

東京開催とあって申込数も多く、生徒約120名、スタッフ約30名と多数の申し込みがあった。体調不良による欠席もあり、当日は生徒98名（うちタイ7名）、引率32名（タイ14名）が出席した。

2. プログラム

当日の行事内容は次の通りである。

- 10:00 受付開始
- 10:15 開会行事 注意・連絡事項など
- 10:30 参加グループ紹介および昼食交流会
- 12:30 2017年度、2018年度の活動紹介“火星大接近について”
- 13:15 閉会行事

2.1 生徒交流会

開会行事が終わったあとはいよいよ生徒交流である。まずは全ての参加団体の自己紹介から始める。各団体1分の持ち時間で、普段どんな活動をしているのか、どんな特色があるのか、どんな研究をしているのかといった内容をスライドを用いて発表した。

その後、11グループに分かれて昼食をとり

ながら交流する。天文に関わることのみならず、様々なことを生徒達は楽しそうに話していた。タイの高校生がいるグループも、一生懸命通訳して一緒に楽しく話そう、という姿勢が見られた。



図1 昼食交流会の様子

昼食をとりおわり、最後に生徒全員で記念撮影をした。

2.2 指導者情報交流会

生徒交流会と並行して、指導者情報交流会が行われた。引率者教員ほぼ全員が出席し、自己紹介を行った。その後、2018年度のテーマとなる“全国高校生火星観測会 Mars' 18”について、実行委員長鈴木文二氏よりプロジェクトの概略を説明いただいた。その後質疑応答を行った。

主として高校生による地域向け観望会の企画について多くの時間が割かれた。また、地学教育を取り巻く現状についても意見が交わされた。

2.3 2018年度の活動紹介

生徒交流会のあとは生徒向け観測テーマ研修会を行った。ハートピア安八船越氏より火

星についての概略を、そして実行委員長鈴木文二氏より、高校生の取り組みについて示唆を頂いた。



図 2 集合写真

および 15 年ぶりの火星大接近など、天文関係の話題に事欠かかない。Astro-HS 全国フォーラムも 20 年の節目を迎え大いに盛り上がることは間違いない。



谷川智康

3. まとめ

2017年度 Astro-HS 全国フォーラムも成功裏に終わることができた。成功の要因として準備段階から Astro-HS 参加常連校の指導者による連携が機能していることが大きい。また、若手スタッフの活躍も目を見張るものがあった。今後ともこの勢いを維持しつつ、さらに彼らの世代へスムーズな交代をしながらこの会が発展していけばと願っている。

2018年度は「はやぶさ2」の Ryugu 到着、



相澤里佳

* * * * *